



平成31年3月28日

～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

入札監視委員会の審議概要について

記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成30年度第4回)が、平成31年3月13日(水)に沖縄総合事務局において開催されました。
審議内容は別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 金田 好章

契約第一係長 琴岡 稔幸

代表 098-866-0031 (内線 2356・2526)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成30年度第4回) 審議概要

開催日及び場所		平成31年3月13日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委員		委員長 小倉 暢之 (琉球大学工学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 田村 ゆかり (弁護士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 中村 真也 (琉球大学農学部教授) (委員は50音順:敬称略)	
審議対象期間		平成30年10月1日～平成30年12月31日	
抽出案件		総件数 5 件	(備考) ○ 入札・契約の状況等、工種別発注状況等並びに指名停止・再度入札の発生状況について報告を行った。
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	
	一般競争	2 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等		1 件	
役務の提供等及び物品の製造等		1 件	
		意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

(別紙)

意見・質問	回答
定例報告 1 入札・契約に関する状況等 2 対象期間における発注案件について 3 指名停止措置の運用状況 4 再度入札における工事別一位不動状況 5 一者入札推移	
抽出事案 1 工事 ◆ 平成30年度名護東道路第4号トンネル工事 ○ 各者の技術提案内容はどのように差が付くのか。 調査基準価格を下回った者全てが、追加資料の提出を辞退しているがどのように考えるか。 競争参加資格の欠格理由で、「企業名が特定できる」とはどのようなことか。 ◆ 石垣港(新港地区)岸壁(-10m)築造工事(第3次) ○ 調査基準価格に非常に近い入札額が少なくないが、よくあることなのか。 ◆ 平良港(瀬水地区)岸壁(-10m)築造工事 ○ 施工計画重視型とはどのような発注方式か。	・新しい技法など標準案を上回る提案を数多くすること等で、他者より高い評価、点数を得ることができる。 低入札の場合、その金額で品質が確保できるのか確認する必要があるので詳細な資料を求めているが、作成に負担を感じて辞退する参加者が多いのではないかと。 審査担当者が恣意的判断をしないよう、一部の書類をそのような作成方法にしているが、今回誤って自社名を記載した参加者がいたもの。 ・可能な範囲で積算に関する基準を公開しており、各企業の積算の精度は高くなってきているのではないかと。 ・工事規模が比較的小さくても相応の技術力を要する事案に適用する。他の方式では配点しない施工計画ついて、配点して評価する方式。
2 建設コンサルタント業務等 ◆ 那覇第2合同3号館設計業務 ○ 資格が無いとされた2者について、どのように欠格と判断したのか。	・公示等にて求める業務実績を明確に記載していたが、参加表明書を確認したところ、求める業務実績が確認できなかったため、欠格と判断した。
3 役務の提供等及び物品の製造等 ◆ 中城湾港(新港地区)みなとカメラシステム製作設置業務 ○ 一者応札の理由について。 ○ 一者応札を解消するための検討はしているか。	・この業界は技術者の確保が難しいと聞いている。なお、本案件は一度入札不調となっており、今回再度の発注手続きで契約に至った。 ・競争参加資格をこれ以上緩和するのは難しいと考えているため、発注情報の更なる周知に努めていきたい。